

## 第53回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時：令和4年2月7日（月） 13時30分～14時
- 2 場所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

本日の感染者は岡山市で303名。依然として高い水準が続いている。今後の対応について協議をしたい。各局から報告をお願いする。

### (1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

#### ・感染者の推移

感染者は増加中。2月5日には873人の新規感染者が発生。今後、更に拡大することも予想され、まだピークと言える状況にはない。

#### ・療養状況

これまでに比べ大きく増加。大半が自宅療養者であるが、感染者が増えることで自宅療養者も増えると考えている。

#### ・感染者の年代

今回の感染拡大は、当初20歳代が中心だったが、現在は、15歳以下と高齢者に感染が拡大している。

#### ・クラスター発生状況

1月以降、クラスターが39件発生しており、学校・保育関係、高齢者・介護施設のクラスターがそのうち8割を占めている。

#### ・感染者の療養期間について

これまでは発症もしくは検体採取日から10日かつ症状軽快から72時間後に療養解除としていたが、無症状の方については検体採取日から7日間たった8日目に解除することに変更する。

#### ・濃厚接触者の待機期間について

原則10日間を7日間に変更。さらに社会機能維持者は事業者の自主検査で短縮が可能。

また、感染者の同居家族の待機期間については、感染者の発症日または家庭での感染対策開始日のいずれか遅い方の翌日から7日間に変更。

感染者や濃厚接触者が職場復帰する際に隔離解除の証明書等を会社から求められるケースがあると聞かすが、証明書の提出義務はないので、感染拡大時には医療機関や保健所の業務省力化のためにもご協力をお願いします。

#### 【感染者の方へ】

保健所業務として、まずは重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持つ方を優先的に対応する。重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持つ方には、保健所が聞き取り調査を行い、病状等に応じ、療養先を決定する。その他の重症化リスクの低い方は、保健所の聞き取りに時間を要しており、市民に迷惑をお掛けしている。リスクの低い感染者の方には、まずは Web 調査等を活用して基本情報を調査する。ほとんどが自宅療養となるので、Web 調査後はまずは自宅療養をしてもらうこととし、特に保健所からの聞き取り調査は行わないこととする。

#### 【感染者と接触された方へ】

同居家族は原則、濃厚接触者として 7 日間の自宅待機をお願いする。濃厚接触者でないその他の接触者は、各自で体調管理をお願いする。症状があれば、医療機関の受診をお願いする。

高齢者施設等の従業員が感染者となった場合、保健所が聞き取り調査をして接触者検診等の実施を行う。

#### 【自宅に居る陽性者、濃厚接触者の感染者と接触された方へ】

体調に変化があった場合は保険所からの連絡を待たないで、かかりつけ医や PCR 検査を受けた診療所に連絡をして受診してもらいたい。

#### ・ワクチンの追加接種について

3 回目接種は昨年 1 2 月に開始し、1 月中旬からは医療従事者、高齢者を中心に接種が本格化している。1 月末までに約 20 万人に接種券を送付しており、3 回目の接種を完了した人は 2 月 7 日時点で約 8 万 9 0 0 0 人、これは接種券を送付した人の 43.6%となる。市内全人口比では 12.6%となっている。

岡山市では 1 月 31 日までに高齢者の約 9 割に接種券を送付しており、64 歳以下の方にも 2 月 15 日以降、順次発送する。医療機関等での接種体制、ワクチン供給体制についても、2 月中には高齢者の接種が終了できるよう体制を構築している。

市内医療機関の予約枠充足率は 31.5%であり、集団接種会場もまだ十分予約ができる状況なので、ワクチンの種類にかかわらず、早めの予約・接種をお願いしたい。

今後の接種促進について、さらなる PR が必要と考えており、今回、POP を作成し、岡山市薬剤師会等の協力をもらい、市内薬局窓口に置かせてもらうこと、市役所の窓口等に置くことを考えている。このように目に留まる形で PR していきたい。

ワクチン接種は感染予防、重症化予防に大変大きな効果が期待される。1、2 回目接種を含めて、なるべく早い時期での接種の検討をしてもらいたい。

#### [保健所長]

各局からの多大な協力を厚くお礼申し上げる。

発生状況については、現在、高齢者施設での複数の患者発生があり、病床も増えている。

市民の方にお願ひがある。現在、救急病院において、多数の患者の殺到により、通常の口

コロナ以外の診療に非常に支障をきたしている。幸い、コロナに関しては高齢者を除いては、若い人では2日ないし3日の高熱が出るものの、その後は入院等は要せずに治癒するのが多数である。通常、時間外や緊急での受診は必要ない疾患なので、ぜひ、通常のかかりつけ医や近隣診療所での受診をしてほしい。そうしないと、コロナ以外での疾患でも必要な救急受診が達成できない状況となるので、ぜひご協力願いたい。

[市長]

土曜日は800名を超える感染者があり、市民も相当心配していると思う。ただ、日曜と今日は先週の同じ曜日に比べて、若干少なくなっている。今の状況をどう見ているか。

[保健所長]

従来、岡山市では検査実施の翌日に確実に検査結果が報告される体制が堅持できていたが、現在、検査結果の報告が2、3日遅れる事態となっている。そのため、週末に800を超える届があったものの、感染日や診断日とは少しずれている報告が土曜日に集積したものと考えられる。そのため、800という数字も水増しされたものかもしれないが、その現象もあと2、3日経過を見ないことには、真に減少しているものなのか、検査報告の遅れによるものなのかは判断しかねるところ。

したがって、現状ではピークを越えたと断言できない状況である。

## (2) 岡山駅前における人流動向について【政策局】

[政策局長]

日によって変動があるが、この4週間、まん防の前後、さらに去年と比べると人流は減少傾向である。

## (3) 庁内の業務継続等について【総務局】

[総務局次長]

市内の感染拡大に伴い、市役所内でも陽性者や濃厚接触者となり出勤できない職員が増加してきている。局内での応援体制などにより、現在のところ業務が継続できていると聞いているが、なお予断を許さない状況である。各職場においては、感染予防対策の徹底と所属職員の出勤状況の把握にも努めてもらいたい。

また、必要な市民サービスを維持するため、局内の相互協力体制、業務継続計画に基づく業務の休止・縮小などの対応についても、いつでも実行できるよう真剣に検討するとともに、ひっ迫する保健所業務への応援に引き続き協力してもらいたい。

## (4) 学校教育活動の取組状況等について【教育委員会】

[教育長]

市内の感染者が急増している中ではあるが、学校においては、手洗いの励行、マスクの着

用、教室等の常時換気、給食時間の黙食の徹底など各家庭とも協力した感染症対策を徹底している。

学校教育活動については、1月20日にお知らせした取組を、各学校に再度確認し継続する。

また、今回は、岡山市立岡山後楽館高等学校入試について新たにお知らせする。この入学者選抜については、新型コロナウイルス感染症の影響により、受検ができない生徒の受検機会確保の取り組みを行う。

2月9日、10日に行われる特別入学者選抜には追検査は実施しないが、3月8日、9日に行われる一般入学者選抜では、3月16日に追検査、また、追検査をやむを得ず欠席した場合には、3月24日に再度の受検機会を設ける。さらにいずれも受験できなかった場合には、書類等による選抜を行う予定としている。

校内での感染拡大防止のため、児童生徒に発熱などの風邪症状が出た場合は、無理をせず早めに医療機関等を受診してもらうとともに、同居する家族に発熱等風邪症状がある場合や風邪症状を理由にPCR検査を受けている場合等は、その症状が回復するまでは登校について控えるよう各家庭にお願いしている。

[市長]

後楽館高校の入試の追検査については既に周知は終わっているのか。

[教育長]

周知は終わっている。

[市長]

ホームページ上や高校から関係者への連絡なども既に終わっているということか。

[教育長]

はい。

## (5) 保育園等の対応について【岡山っ子育成局】

[岡山っ子育成局長]

保育所等状況だが、全体 239 施設、これは公私立認可保育園、認定こども園、地域型保育事業所、市立幼稚園の総数になるが、そのうちの全休園施設とクラス閉鎖をした施設の数を資料にあげている。過去最大が1月29日であるが、直近の2月4日では2施設が全休園、16施設がクラス休園している。未就学児の感染者の症状はほとんどが軽症であり、保育士については、一部不足の園もあるが全体的には逼迫していない状況であるため、保護者の就労確保等社会生活を維持する観点から、引き続き感染防止策に努めながら原則開園とする。また、園内で感染者が確認された場合は必要に応じて、家庭保育協力依頼、クラス閉鎖、休園等の対応をとる。

## 5 本部長まとめ

オミクロン株は、感染力が強い一方で重症化率が低いという傾向がある。連日多数の新規感染者が発生する中、われわれは、重症化リスクの高い人を確実に把握し、迅速に対応し適切な療養をしてもらうことを優先していく。

まず、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患をある方を優先して、保健所が病状等に応じ、療養先を決定する。その他、軽症、無症状で、重症化リスクの低い方は、原則として、自宅で療養をお願いしたい。保健所からの連絡に時間を要する場合もあるが、原則 1 日 1 度、健康状態を確認する。もし、体調に変化があった場合は、保健所からの連絡を待つことなく、かかりつけ医や PCR 検査を受けた診療所へ連絡し、受診していただきたい。医療機関がわからなければ、受診・相談センター(086-803-1360)へお問い合わせいただきたい。その他、濃厚接触者の方や体調に変化があった時の対応等についても、ホームページにフローチャートを掲載しているので、確認してもらいたい。

感染者のうち症状のある方は、発症日から 10 日間経過し、かつ、症状軽快後 72 時間経過、症状のない方は検査日から 7 日間経過後に療養解除となる。また、感染者の同居家族の待機期間は、感染者の発症日の翌日から 7 日間となっている。この期間は、生活のために必要な買い物などを除き、不要不急の外出を控えてもらいたい。

新規感染者が、若年層からすべての年齢層に広がってきている。オミクロン株においても、基本的感染防止対策が有効とされており、不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気の徹底、三密の回避をしてもらいたい。

また、飲食は第三者認証店を選び、できるだけ少人数で、大声・長時間を避け、飲食時以外はマスクを着用してもらいたい。

ワクチン接種であるが、先日行われた政府のコロナ本部会議において、オミクロン株においても、ワクチン接種が重症化を予防する効果があることが示されている。1 月 31 日までに接種券を送付した 20 万 4000 人のうち、約 44%にあたる 8 万 9000 人の 3 回目接種が完了した。

市内医療機関及び集団接種会場は、まだ十分予約可能な状況である。3 回目接種はもちろん、1・2 回目接種も可能なので、是非接種をお願いしたい。